

株主の皆さまへ

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

第162期 中間報告書

Contents

株主の皆さまへ	1
財務諸表	2
財務ハイライト	3
トピックス	4
株式・会社情報	6



100年の技術と信頼を明日へ



広栄化学株式会社

証券コード：4367

株主の皆さまへ



代表取締役社長
社長執行役員

両本 敬

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
当社の第162期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済への影響が長期化するとともに、円安の進行や、原油価格の高騰が継続し、先行き不透明な状況が続いております。このような情勢の下、当社は、売価是正、拡販に注力するとともに、生産の合理化・効率化による製造原価低減など一層のコスト削減に取り組み、全社を挙げて収益確保に努めてまいりました。

この結果、当中間期の売上高は90億6百万円（前年同期比15.1%増）、利益面では、営業利益9億84百万円（前年同期比200.8%増）、経常利益10億16百万円（前年同期比122.2%増）、四半期純利益7億57百万円（前年同期比59.2%増）となりました。通期の業績見通しは、上期実績を踏まえ見直しをし、売上高195億円、営業利益13億円、経常利益13億円、当期純利益10億円を見込んでおります。

また、当期の中間配当金につきましては、10月31日開催の取締役会において、1株あたり50円（前期中間配当50円）の配当を行うことを決議いたしました。年間の配当性向（期末配当予想は50円を予定）は49%程度となる見込みです。

現行中期経営計画『伝承と挑戦』KX2.0では、「事業成長戦略加速」、「経営基盤強化」、「人材育成強化・加速」を基本方針とし、2024年度の経営目標を売上高214億円、ROIC8%と掲げております。目標達成の推進力となる4系列目のマルチプラントCMIVの商業生産を本年10月より開始しており、製販研一体となって、計画完遂に向けて取り組んでまいります。その他のトピックスと合わせ、本中間報告書の中でご説明しておりますので、ぜひご一読くださいますようお願いいたします。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

財務諸表

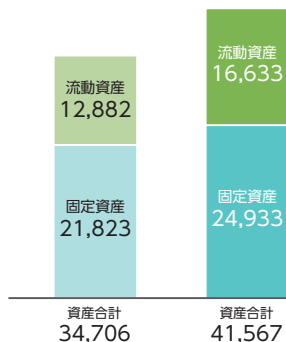
貸借対照表

資産の部

(単位：百万円)

前期
2022年3月31日現在

当中間期
2022年9月30日現在

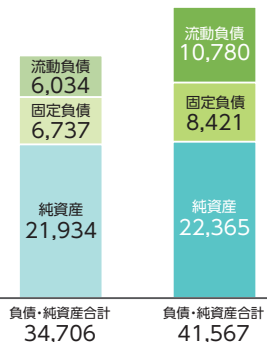


負債・純資産の部

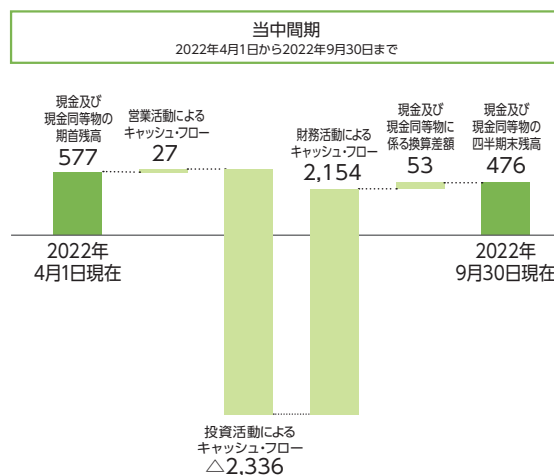
(単位：百万円)

前期
2022年3月31日現在

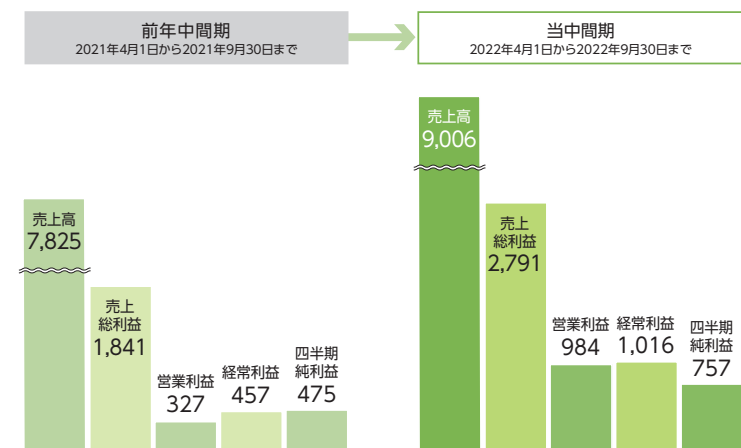
当中間期
2022年9月30日現在



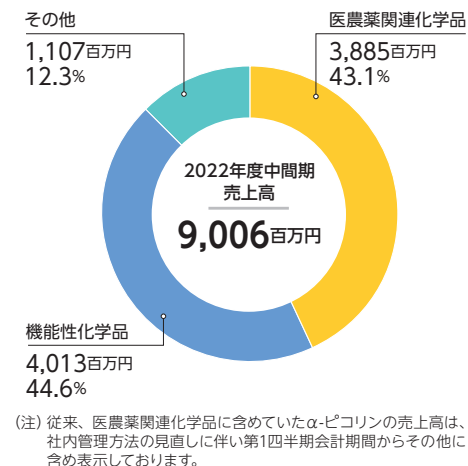
キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)



損益計算書 (単位：百万円)



製品グループ別売上高構成比

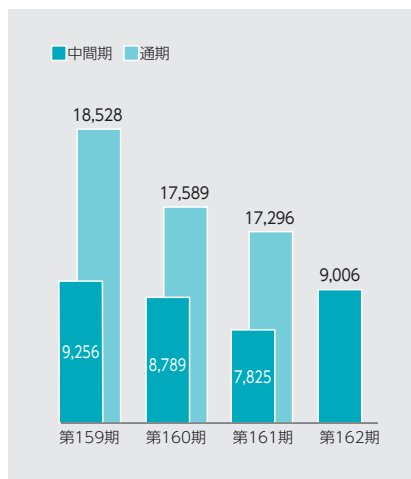


通期業績予想 2022年4月1日~2023年3月31日

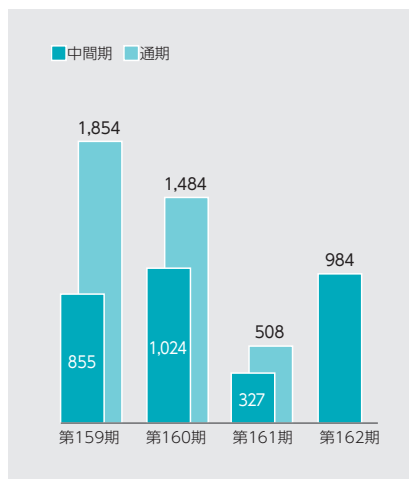
売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
19,500百万円	1,300百万円	1,300百万円	1,000百万円

財務ハイライト

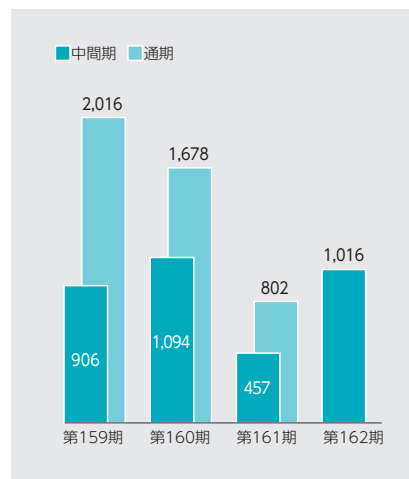
売上高 (百万円)



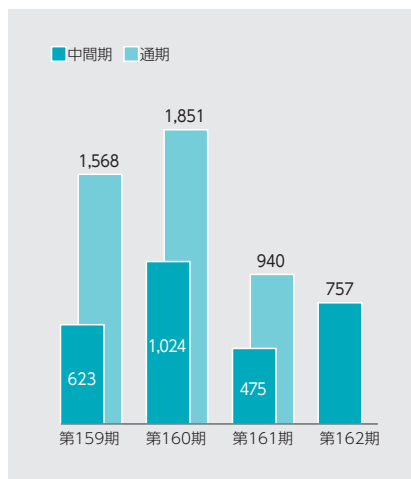
営業利益 (百万円)



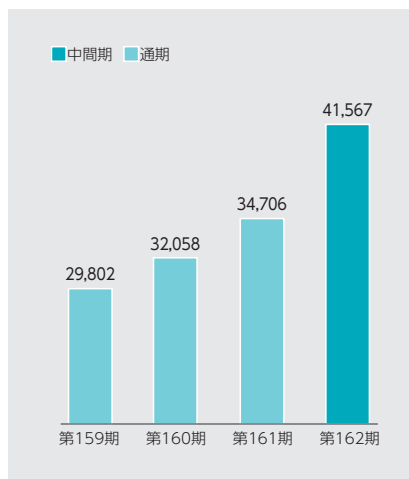
経常利益 (百万円)



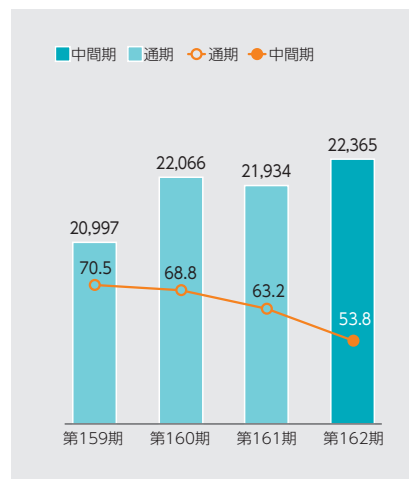
純利益 (百万円)



総資産 (百万円)



自己資本 (百万円) / 自己資本比率 (%)



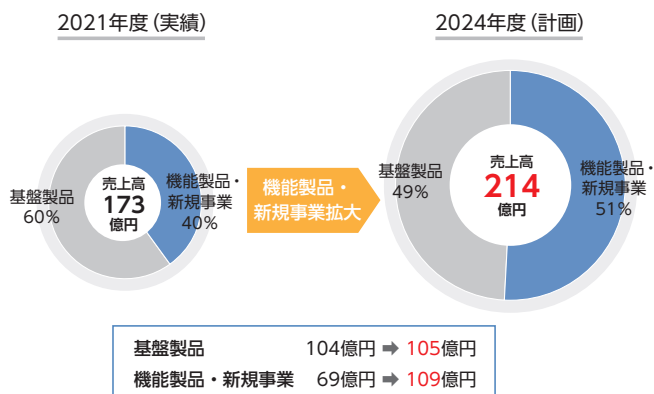
新マルチプラントCMIV稼働開始

当社は、2022年10月よりCMIVの商業運転を開始いたしました。CMIVは4系列目のマルチプラントとして、最大規模の生産能力を誇ります。蓄積したノウハウを設備設計に活かし、作業管理や品質管理に優れた最新設備を備えています。成長事業と位置付けている医農薬中間体、有機金属触媒、電子材料関連製品、イオン液体等の機能製品の生産能力を大幅に増強しており、事業拡大に大きく寄与するものと期待しています。CMIVは、新規事業拡大のための原動力であり、住友化学グループとの連携強化による新製品開発加速、ウレタン樹脂低温硬化触媒をはじめとする自社開発品の早期事業化、新規分野探索（光学・電子・電池材料、環境負荷低減分野等）などに積極的に取り組み、製販研一体となった事業拡大策を進めてまいります。

本プラント稼働により、機能製品・新規事業の売上高比率は、2021年度の40%から2024年度には51%へ大幅に伸長する計画です。現行中期経営計画最終年度（2024年度）の経営目標である売上高214億円、ROIC8%の達成を目指してまいります。



機能製品・新規事業拡大見通し



当社のマルチプラント系列

	既存プラント			新プラント
	CM I	CM II	CM III	CM IV
面積・大きさ	1,900m ² 6階層	3,100m ² 4-6階層	2,800m ² 6階層	4,700m ² 7階層
反応器	11 (1-5m ³)	15 (7-10m ³)	8 (3-10m ³)	10 (10-20m ³)
ろ過機 (ろ過乾燥機含む)	6	6	6	4
生産数量範囲	10kg~数トン	数トン~100トン	100kg~100トン	数トン~100トン

研究パイロットプラント (少量試作設備) 建設

当社は、本年5月に研究パイロットプラントを建設することを意思決定いたしました。2023年7月に完成、同年8月から稼働開始する計画です。

本設備は、100~300リットル規模の反応器やろ過乾燥機を備え、研究（ラボ）と商用プラントの中間サイズであるパイロット設備と位置付けております。製造プロセスの確立、合理化検討を加速させることにより、CMVを含めたマルチプラント系列との円滑な連携を行い、より効率的な生産を可能とします。また、低温反応や水添反応が可能な設備、耐食や耐熱に優れたハステロイ反応器、高純度製品を精製できる設備も備えており、高付加価値製品の少量生産対応など、ソリューション提供体制を強化し、新たな領域での事業拡大を促進します。



『広栄化学レポート2022』発行

当社は、すべてのステークホルダーの皆さまに向けて、2022年10月に『広栄化学レポート2022』を発行いたしました。

昨年までの「CSR報告書」から名称を変え、当社の事業や価値創造プロセスを皆さまにわかりやすくお伝えすることを目指し、当社の企業価値向上に向けた取り組み、事業の強みや成長戦略、人的投資など、これまで以上にわかりやすく充実した内容となっております。

- ▶ 本レポートは、当社ウェブサイトのサステナビリティページに掲載しております。是非ご一読ください。



当社ウェブサイト：
https://www.koeichem.com/dcms_media/other/KoeiChemicalReport2022JP.pdf



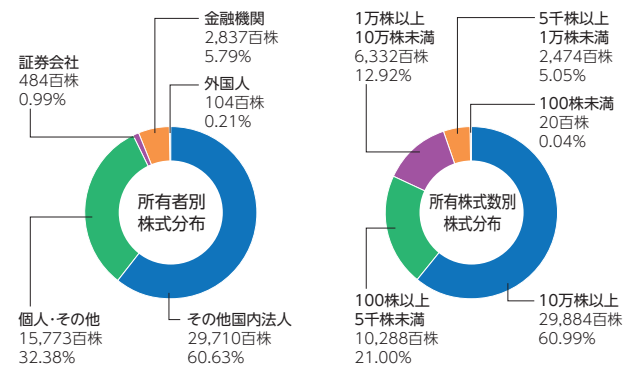
発行可能株式総数	16,000千株
発行済株式総数	4,900千株
株主数	2,884名

大株主

株主名	持株数	持株比率
住友化学株式会社	2,731千株	55.84%
近畿産業信用組合	240	4.91
種田 修	103	2.11
阪本 重治	44	0.90
磯 雅弘	43	0.90
大塩 学而	43	0.88
広栄化学社員持株会	37	0.76
丸石化学品株式会社	33	0.69
上田八木短資株式会社	26	0.55
山崎 孝二	26	0.54

(注) 持株比率は、自己株式(8,883株)を控除して算定しております。

株主分布状況



(注) 本報告書に記載しております数字は、金額・持株数については表示単位未満の端数を切り捨て、その他は四捨五入により表示しております。

会社概要 (2022年9月30日現在)

設立	1917年6月17日
資本金	23億43百万円
従業員数	383名 (嘱託、派遣社員、出向者除く)
事業内容	医薬、農薬、塗料、染料、各種合成樹脂の原料・中間体の製造及び販売他
事業所等	東京本社：東京都中央区日本橋小網町1番8号 千葉工場：千葉県袖ヶ浦市北袖25番地 千葉研究所：千葉県袖ヶ浦市北袖25番地
ホームページアドレス	https://www.koeichem.com/
証券コード	4367

役員一覧 (2022年9月30日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	西本 麗	社外取締役 (監査等委員)	養老 信吾
取締役 常務執行役員	深堀 敬子	社外取締役 (監査等委員)	八田 陽子
取締役 執行役員	和田 英男	常務執行役員	河合 秀忠
取締役	酒井 基行	常務執行役員	鴻上 博光
社外取締役	東 英雄	執行役員	坂本 典保
取締役 (監査等委員)	近藤 憲二	執行役員	江川 彰彦
社外取締役 (監査等委員)	瀧口 健	執行役員	大畑 尚志



レスボンシンボル・ケア

実施宣言

「このシンボルマークは、「両手と分子模型」をデザインしたもので、化学物質を大切に扱うという趣旨を表しています。」

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
株主確定基準日 (1) 定時株主総会・期末配当 3月31日
(2) 中間配当 9月30日

その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネット)
ホームページURL) <https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/>

公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。
<https://www.koeichem.com/>

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式の買取増制度について

単元未満株式(100株未満の株式)を、当社と売買いただく制度(単元未満株式買取および買増請求の制度)がございます。売買をご希望される場合は、お近くの三井住友信託銀行株式会社の本・支店にご連絡ください。

配当金のお支払期限について

配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。

株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

会社法改正により、2022年9月1日に株主総会資料の電子提供制度が施行され、これまで郵送していた株主総会資料が原則ウェブ化されます。

この制度においては、インターネットの利用が困難であるなどの株主様の事情に配慮して、「書面交付請求」の手続きも設けられていますが、当社は株主様への情報ご提供を重視し、**第162期株主総会に際しては、株主総会参考書類や事業報告等、これまでと同様に書面でお届けいたしますので「書面交付請求」のお手続きは不要**でございます。

なお、第163期以降の株主総会では提供方法を変更する可能性がありますので、ご承知おきください。

【本件に関するお問い合わせ先】

三井住友信託銀行 証券代行部

☎0120-533-600

受付時間 9:00~17:00(土・日・休日を除く)
ぜひQ&Aもご利用ください。

<https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/>



配当金は口座振込でも受け取ることができます。

配当金を郵便局の窓口で
お受け取りの場合

- 受け取り忘れのリスクがあります。
- 郵便局へ行く手間がかかります。

口座振込に指定する場合

ご指定の口座に振り込まれるため、
配当金のお支払い開始日に確実に
お受け取りができ、大変便利です。

お手続きに関するお問い合わせ先

- 証券会社に口座をお持ちの株主様は、お取引口座のある証券会社へお問い合わせください。
- 証券会社に口座がない株主様は、左上に記載の電話照会先へお問い合わせください。

100年の技術と信頼を明日へ



広栄化学株式会社

東京本社
〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1番8号
電話 (03) 6837-9300(代表)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。



この報告書は、FSC®認証紙を使用して
印刷しています。